

事業番号	06 04 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ■点検			
事業名	生活排水施設整備事業（企業会計分）	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課	
		実施期間	S46 ～	E-mail	seikatsuhaisui @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

【現状】

・有形固定資産減価償却率 22.76%（R6）

【課題】

- ・都道府県構想に基づき、施設の計画的な改築更新等による持続可能な生活排水対策を推進する必要がある。
- ・頻発、激甚化する豪雨により処理場が浸水しても機能を損失させない対策が必要である。

2 事業目的

○快適な生活環境と良好な水質保全を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①老朽化施設の改築更新

適切な汚水処理機能維持のため、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予想しながら、下水道施設を計画的かつ効果的に管理するストックマネジメント計画に基づき、施設・管渠の改築更新を推進

②防災対策の推進

100年に1度の確率で発生すると想定される大雨に備えるため、各処理場で防水ドア、防水シャッターの設置や窓の閉塞などの耐水化対策を推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	ストックマネジメント計画における改築・更新完了施設数（累計）	箇所	27	29	↗	29	→	31 未達成	ストックマネジメント計画（期間：令和10年度まで）において、87施設の完了が目標であり、令和6年度においては31施設の完了を目標としている。
②	耐水化完了施設数（累計）	箇所	2	6	↗	6	→	12 未達成	耐水化計画において短期的には令和8年度までに17施設の耐水化完了が目標であり、令和6年度においては12施設の完了を目標としている。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	汚水処理人口普及率	%	2022 (R4)	98.3	2023 (R5)	98.3	2024 (R6)	98.4	2027 (R9)	98.6

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	2,458,511	5,289,186	0	7,747,697	62,987	4,304,471	28.0
R5年度	2,462,607	5,960,673	0	8,423,280	54,509	3,875,491	28.0
R4年度	3,781,895	4,586,536	0	8,368,431	60,718	4,352,093	28.0

事業番号	06 04 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	生活排水施設整備事業（企業会計分）			部局	環境部	課・室	水道・生活排水課

7 主な取組実績と成果

①老朽化施設の改築更新

適切な汚水処理機能維持のため、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予想しながら、下水道施設を計画的かつ効果的に管理するストックマネジメント計画に基づき、施設・管渠の改築更新を推進

②防災対策の推進

100年に1度の確率で発生すると想定される大雨に備えるため、各処理場で防水ドア、防水シャッターの設置や窓の閉塞などの耐水化対策を推進

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	ストックマネジメント計画における改築・更新完了施設数（累計）	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	未達成
物価高騰による入札不調等により、当初の計画に基づき施策を進めることが出来なかったため。							
指標 ②	耐水化完了施設数（累計）	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	未達成
物価高騰による入札不調等により、当初の計画に基づき施策を進めることが出来なかったため。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

長野県生活排水処理構想（2022改定版）に基づき、施設の計画的な改築更新等による持続可能な生活排水対策に加え、能登半島地震を踏まえた耐震化の推進と激甚化する豪雨により処理場が浸水しても機能を損失させない耐水化対策、埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえた管路施設の効率的な改築更新を実施する。

(2) 事業改善の方策

令和6年3月に改定した「長野県流域下水道事業経営戦略」に基づき、これからの人口減少化においても将来にわたって継続して運営できるよう、また災害時においても処理を継続できるよう施策を推進する。

事業番号	06 04 02	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	生活排水施設整備事業（企業会計分）			部局	環境部	課・室	水道・生活排水課

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	流域下水道事業（公共・県単【下水道】）		4,352,093 千円	3,875,491 千円	4,304,471 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	諏訪湖流域下水道の施設整備	直接 委託	管渠：湖周幹線改築更新工事 管渠：下諏訪ポンプ場土木建築機械電気設備工事 等		
			整備箇所数：6 箇所		
2	千曲川流域下水道（下流処理区）の施設整備	直接 委託	処理場：砂ろ過設備改築工事 処理場：マレットゴルフ場フェンス設置		
			整備箇所数：2 箇所		
3	千曲川流域下水道（上流処理区）の施設整備	直接 委託	管渠：1 号焼却炉改築（土建）工事 処理場：6 系水処理施設増設工事 等		
			整備箇所数：11箇所		
4	犀川安曇野流域下水道の施設整備	直接 委託	処理場：耐水化対策工事 処理場：管廊耐震工事 等		
			整備箇所数：6 箇所		